

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1473	(H.28)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	名張市くらしあんしんサポーター(防災)育成事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
市民部	市民相談室	中川 紀代美	

会計区分	事業コード
一般会計	025905
款 総務費	(中事業名)※予算書事業名
項 総務管理費	地方消費者行政推進事業
目 地域振興費	(小事業名)
	くらし安心サポーター(防災編)育成推進事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり
	施策	1	防災・減災
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
非常時(災害時)の際、市民一人一人が、名張市の地域ネットワークの特性を活かし、地域での特徴を捉えた「合理的行動を实践できる市民」を目標に「名張市くらしあんしんサポーター(防災)」育成のための消費者教育推進事業を実施
事業内容
国の地方消費者行政活性化交付金による県の消費者行政活性化基金を活用した事業を展開する。 ○地域づくり組織、食に関する取組団体等と連携して下記事業を実施 ・「非常時ごはん講座(調理実習)」の実施 ・「防災に関する消費者意識調査」を実施し統計分析 ・「名張市くらしあんしんサポーター(防災)育成事業講演会」の実施 ・防災に役立つレシピ等が入った冊子の作成と配布

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画		非常時(災害時)における合理的行動のための消費者教育推進事業

H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費				6,613千円			
内訳(千円)				4,586			
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	0	0	2,027	0	0	0
人工数				0.20人			
職員				1.00人			
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	0千円	0千円	3,200千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	0千円	0千円	9,813千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
「食を通じた身近な防災」をテーマに自身で判断できる自立した消費者を目指し、家庭にある常備品を使い、食品ロスを出さない賢い消費者となり、被災時に手軽でおいしく調理する方法について学び、「被災時にくらしの質を高める」ことができるよう講演会を実施、消費者教育の推進を図り、「名張市くらしあんしんサポーター(防災)」としての消費者教育の担い手を育成するために本事業を実施する。 一人一人の市民が活動する消費者としての意識を持ち、市民総ぐるみでの消費者被害を防ぐ取組の気運を高める効果が図られる。地域づくり組織、名張市消費生活協議会等からなるネットワークプロジェクトの組織の参加により一層連携・協働が図られる。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に係る市の計画
体系立った消費者教育の取組により、サポーターを拡げ、幅広い消費者教育の連携に繋げる効果が期待でき、講演会を開催することで市民の「消費者意識を持った防災」に対する関心を高め、賢い消費者生活を実践するための知識を得ること、問題意識を持つことに繋がります。	